

News Release

2007年7月6日
株式会社テクノアソシエーツ

報道関係者各位

日韓 FPD メーカーの技術競争力を徹底検証
緊急レポート「大同団結する韓国ディスプレイ業界」を発行
韓国大手 FPD メーカー「8大相互協力」(2007年5月発表)が日本メーカーに与える影響とは

三菱商事と日経 BP 社が共同出資して設立したコンサルティング企業 株式会社テクノアソシエーツ(本社:東京都港区、代表取締役社長:高野一郎)は、シンクタンク・レポート「大同団結する韓国ディスプレイ業界～日本企業との技術競争力を比較」を、7月6日に発行します。

本レポートは、2007年5月14日に韓国産業資源部が発表した、Samsung Electronics Co., Ltd.、Samsung SDI Co., Ltd.、LG Electronics Inc.、LG.Philips LCD Co., Ltd.によるフラットパネル・ディスプレイ(FPD)に関する特許協力、共同研究開発の推進などを盛り込んだ「8大相互協力」の合意を受けたもので、国内 FPD 関連メーカーの技術競争力への影響を分析、東アジアを舞台に今後も競争の激しさが増す FPD 市場の行方を明らかにします。

本編では、「8大相互協力」の中味を検証した上で、LCD(液晶ディスプレイ)、プラズマ・ディスプレイ、OLED(有機 EL ディスプレイ)といった代表的なディスプレイ技術について、日本のリーディングカンパニー各社と韓国メーカー連合との日本・米国各市場における技術競争力を、特許の側面から分析しています。また、各ディスプレイ分野における提携関係をベースにした技術競争力のシミュレーション、主要部材に関する技術競争力の比較も行なっています。

本レポートの企画・著作は、知的財産コンサルティング会社SBIインテクストラ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:大津山秀樹)が担当しました。技術競争力の分析には、同社が独自に開発した特許評価・分析システム「StraVision®(ストラビジョン)」を活用。特に、各社の出願・登録情報による“量”の分析に加え、特許データが含んでいる質的要素を加味するために同社が開発した評価指標「PCI®(Patent Competency Index)」もとに、各社の潜在的な技術競争力を定量化、総合的に分析している点が大きな特長です。

<サマリー抜粋>

シャープ 対 韓国LCD連合

- ・ 日本では韓国勢、特に Samsung Electronics がシャープを猛追。2005年(単年)にはシャープを追い抜く
- ・ 米国では、累積でシャープが韓国連合を圧倒するものの、95年以降その差は縮小。2001年以降の単年度では韓国勢がシャープを逆転

松下電器産業 対 韓国PDP連合

- ・ 日本では、1995年頃から出願を始めた LG グループ、Samusung グループ。松下電器産業は件数では両

社を引き離すものの、質では逆転。

- ・ 米国では、量については松下電器産業、LG グループ、Samsung グループの三つ巴。質では松下電器産業が優勢

ソニー 対 韓国OLED連合

- ・ 日本では、量についてはソニーと韓国連合は拮抗。技術的な発展がまだ期待できる OLED 領域では、技術競争力でソニーが有利
- ・ 米国では、ソニー、LG グループ、Samsung グループの特許登録件数はまだ僅か。現時点では、日本と同様にソニーの技術競争力が突出。

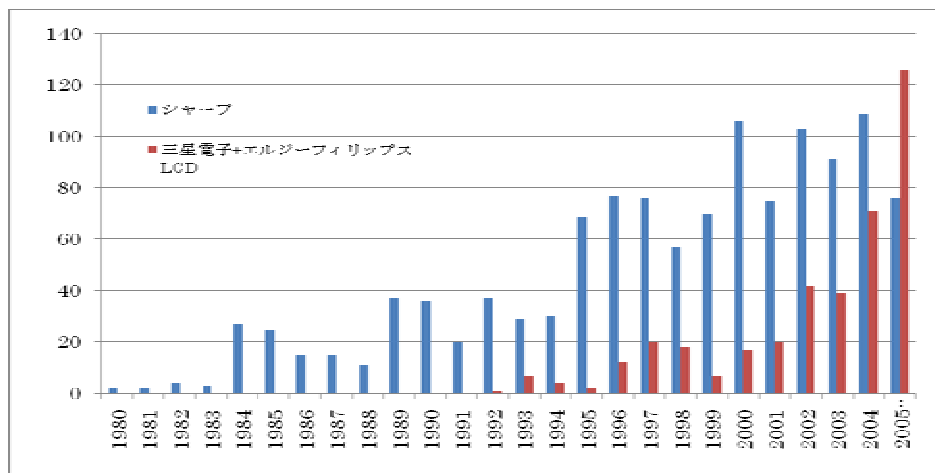
「8 大相互協力」の影響

- ・ ビジネスの視点では、これまでの系列によるロスが減り、韓国経済の活性化につながる可能性がある。Samsung Electronics や LG Electronics は台湾パネル・メーカーから部材を輸入しているが、これを国内で調達すればその分、韓国経済が活性化する可能性がある。
- ・ 技術の視点では、ロードマップや共同研究開発成果の共有化、韓国共通の技術標準策定による国際技術標準に対する発言力拡大などによって重複研究の回避や研究開発の効率化が図られる一方、個々のメーカーにとっては単独保有の有力技術が減少することによって競争力低下を招きかねない懸念が生じる。
- ・ 知財の視点では、方針としては特許の共有化や係争の共同対応を掲げるが、過去の特許については必要と場合に依じてこの方針の適否を決めると韓国産業資源部が認めていることから、法人格を別にする本施策の体系の中で果たしてどこまで実効性が上がるのかが課題となる。

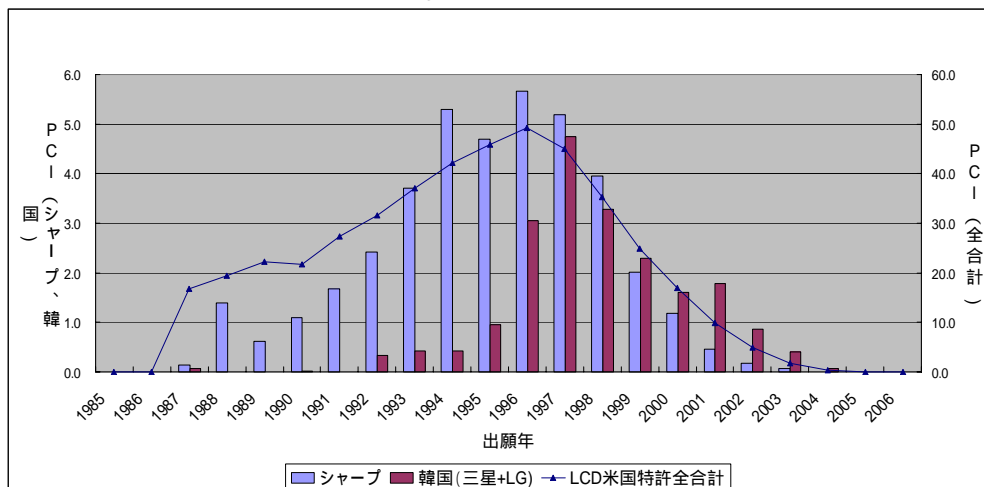
< 目次抜粋 >

- 第 1 章 「8 大相互協力の影響」
- 第 2 章 FPD (LCD、PDP、OLED) に関する技術競争力分析
- 第 3 章 フラットパネル・ディスプレイメーカーの提携関係
- 第 4 章 主要部材に関する日本企業と韓国連合の技術競争力比較
- 第 5 章 まとめ

シャープ, Samsung Electronics + LG.Philips LCD の出願件数推移 (日本)



シャープ VS 韓国連合 (Samsung グループ・LG グループ) の PCI 推移 (米国)



大同団結する韓国ディスプレイ業界 日本企業との技術競争力を比較

【企画・著作】 SBI インテストラ株式会社
 【発行】 株式会社テクノアソシエーツ
 日経 BP 知財 Awareness
 【発売】 日経 BP 社
 【発行日】 2007年7月6日
 【頁数】 186 ページ、カラー (本編データ入り CD-ROM 同梱)
 【定価】 199,500 円 (税込)
 【詳細】 http://sangyo.jp/ri/korea_display/



< 株式会社テクノアソシエーツについて >

テクノアソシエーツは、三菱商事の持つ豊富な事業ノウハウ・国内外ネットワークと、日経 BP 社が持つ高度な専門情報の収集・分析力を融合させ、技術を核とした事業開発に関して大企業・業界コンソーシアム・政府・ベンチャー企業などを対象にコンサルティング/マーケティング事業を行ないます。シンクタンク部門では、2006年7月に「デジタル家電・特許マップ - ディスプレイ技術編」、2007年1月に「LCD パネル・メーカーの事業戦略研究 2007」を発行しました。

URL : <http://www.technoassociates.com/>

本件に関するお問い合わせ

株式会社テクノアソシエーツ
池田

TEL : 03-5545-1723

E-Mail : iked@technoassociates.com